

看護学課題研究 (小児看護学)

[研究] 2年 通年 選択 180時間 6単位

《担当者名》木浪智佳子 [kinami@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

小児看護学特論、演習等の既修学習をもとに、小児看護実践の質向上に寄与する具体的な研究課題を設定する。さらに関連の研究論文レビュー、研究計画の立案、データ収集、分析を行い、一連の研究プロセスを踏むことで看護研究の実践能力を養う。

【学修目標】

小児看護領域における研究課題を見出し、一連の研究プロセスに沿って研究課題に取り組み、論文を作成することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	研究課題の明確化	先行研究の検討を行ったうえで、以下のような小児看護領域における研究課題を決定する。 乳児期から思春期までの小児と家族に対する新しい看護実践方法の開発 小児看護実践の効果測定や評価 小児の疾患や障害が小児と家族の生活に与える影響など	木浪
	研究計画書の作成	1) 研究課題の達成に適した研究デザインを選択する。 2) 研究倫理指針に則り、倫理的配慮の具体的な方法を計画書に記載する。 3) 実現可能で看護上の意義が明確である研究計画を立案する。	木浪
	データ収集の準備・実施・分析	1) 倫理的配慮に基づいたデータ収集を実施する。 2) 研究目的に沿って収集したデータの分析を行う。	木浪
	論文の作成と公表	1) APA論文作成マニュアル等の書籍を参考にして、研究の成果を論文にまとめる。 2) 論文審査およびポスターセッションに向けて、研究成果を公表するためのプレゼンテーション技術を学ぶ。	木浪

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

研究の準備状況、取り組み姿勢が30%、論文審査基準に基づく最終審査試験の評点が70%。

【学修の準備】

学生が計画したスケジュールに沿って、主体的に学修を進めるとともに、その時点での進捗状況および課題を簡潔に報告できるように準備して臨む。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。